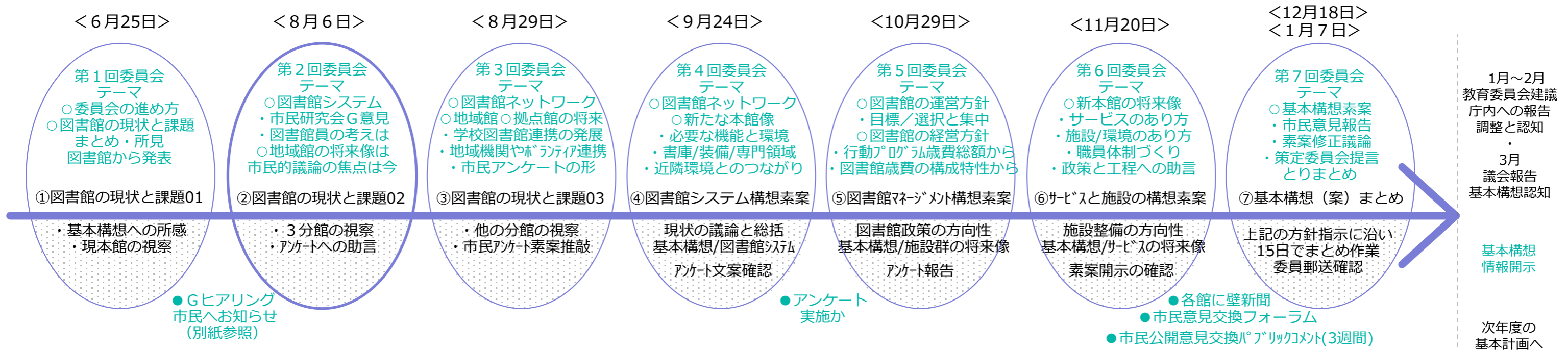


● 策定委員会の構成と進め方について（第二回策定委員会 検討資料）



○ 策定委員会への資料提示（トピックス）の準備/委員会に併行するヒアリングや部会議論 など

■ 図書館員（専門職集団）との 情報提示・意見交換・課題研究 など 策定委員会に3回の職員全体研究会から意見を届ける。

- △7/7.第1回（話題提供：計画同人）・現状を図書館員が俯瞰議論する。・市民要望を館員から読み解く。
→ 「地域館/拠点館/新本館の今後」について、図書館員ひとりひとりの考えを策定委員会に届ける。
- △8/4.第2回（講師に松本策定委員）・図書館協議会での議論と意見。・新図書館へ体制の脱皮に。
→ 図書館員としてどう学び直し、どう変わるか、 図書館員としての課題の例示/提示を
- △調整中.第3回（講師に常世田策定委員）・資料世界の構築。・図書館マネジメント（経費の分析と他市比較）
→ 図書館員としてどう学び直し、どう変わるか、 図書館員としての課題の例示/提示を

△図書館員集団の自主研究
・図書マーク、館籍、ICチップ、自動化書庫、
・これまでの利用アンケートに足りないこと
・利用していない市民へのアンケートの手法
・専門職集団として必要な研修のかたち
・図書館であるために閉館日を増やすという論理
・・・・多摩市立図書館員の考え

■ 図書館協議会/教育委員会など（連携/政策集団）との 情報提示・意見交換 など

- △7/21.子どもの読書活動推進計画市民連絡会ヒアリング（鈴木委員傍聴）：地域の文庫活動や地域館での活動から図書館を考える→追伸中
- △8/25.図書館協議会ヒアリング：二度の図書館政策の総括的提言、読書活動推進計画と市民反響後の追加的研究成果
- △8/01.企画政策/総務/教育部門ヒアリング：行動プログラムの更新、財政展望・図書館人事・図書館施策の将来像

■ 学校図書館員/ボランティアグループなど（連携/類縁集団）との 情報提示・意見交換 など

- △7/21.学校図書館司書ヒアリング：学校図書館支援、教育支援、支援連携の展開←生徒一人利用密度と資料費.統計
- △7/21.行政資料室ヒアリング：行政施策との連携（行政支援/行政文書受け入れ/チラシポスター/地域資料構築）
- △ボランティアの形、グループ状況、全体連絡会、ボランティアコーディネートの展開
- △障害者支援、青少年支援、幼稚園保育園、包括支援センター連携、病院支援、福祉作業所、ビジネス起業支援、（ブックスタート/包括支援との連携/共同企画/本のリサイクル/公民館図書室の展望/ほか、行政施策との連携）
- △広域利用や都市連携、大学図書館連携、公共図書館連絡会、都立との関係

■ ご希望市民グループ/図書館研究市民グループなどとの 情報提示・意見交換 など 別紙公募案内

- △7/21.多摩市に中央図書館をつくる会ヒアリング（鈴木委員傍聴）：再度確かめる、中央図書館はなぜ必要か → 追伸準備中
- △8/09.多摩市の地域図書館の存続を考える会（4団体）ヒアリング
- △8/25.多摩市の社会教育を考える会ヒアリング
- △8/25.多摩おはなしの会ヒアリング
・図書館友の会への展望は？これからの図書館市民活動の連帯は？図書館の将来像にご希望ご意見は？

＜8月6日＞

第2回委員会テーマ
● 策定委員会の進め方/おおまかな工程

● 図書館の現状と課題02

＜地域館3館をみる＞
＜多摩の皆さんから聞く＞

議題01.
多摩市の図書館サービスシステム.その全体像は。
(地域館の配置と連担で形成された多摩市図書館の歴史と課題)

議題02.
新たな本館ができたときに、
地域館に求め続けられていくもの
(それぞれの地域館の置かれた状況は今後議論するとして)

議題03.
新たな本館ができたときに、
拠点館はどう変わるか
(新しい多摩市の図書館新本館の役割をふまえながら)

第2回提供資料・・・いま、いちど立ち止まって考えるとき

- ・多摩市の図書館8館の概要
- ・図書館員から伝えたい図書館のあり方
- ・学校図書館司書、市民グループヒアリングから
- ・2016.05.わたしたちの図書館をなくさないで
- ・2016.07.公共施設の見直しと将来像

※今後、各方面の意見ヒアリングを策定委員会に提出してゆきます。